

富山地方裁判所委員会（第38回）開催議事概要

1 開催日時

令和4年12月13日（火）午前10時から午後零時まで

2 開催場所

富山地方・家庭裁判所大会議室

3 出席者

【委員】（五十音順、敬称略）

梅澤礼、呉座谷恭子、佐藤淳、砂原宏昭、鳥取則子、中村聡子、中山敦雄、西野満男、細野高広、吉田彩

【説明者】

梅村地裁会計課長及び小林地裁総務課庶務係長

【事務担当者】

三谷地裁事務局長、佐野地裁事務局次長、梅村地裁会計課長、川崎家裁総務課長、川久保地裁会計課課長補佐、内山家裁総務課課長補佐、小林地裁総務課庶務係長

4 進行次第

- (1) 委員長挨拶
- (2) 前回の委員会での提言に対する取組状況についての報告
- (3) 議事「利用しやすい裁判所を目指して（本庁舎のサイン表示）」
 - ア 概要説明
 - イ 裁判所利用体験
 - ウ 庁舎見学
 - エ 意見交換

別紙のとおり

5 次回のテーマ

より分かりやすい裁判員選任手続に関するテーマ

6 次回の開催期日

令和5年7月5日（水）午後2時

(別紙)

意見交換

(○委員、●委員長、■裁判所)

- 庁舎建替を待たずして、現在の庁舎で対応した方が良いと思われる点及び現在の庁舎の問題点を踏まえ、新庁舎では改善した方が良いと思われる点について、御意見を伺いたい。
- 正面玄関を入れてすぐに設置されている案内表示板の「現在地」という表示が小さくて見えにくいので、もっと大きくした方が良いと思った。
- 来庁者が正面玄関から入って一番最初に見える案内表示だからこそ、分かりやすいものであることが大切だと考えている。
- 貴庁の案内表示は、20年ほど前と比べると、格段に説明しようという努力が伝わってきた。点字などによる案内表示をもっと増やしても良いのではないか。
- 一般傍聴者もかなり増えているので、そのような方々のためにも分かりやすい案内表示を意識しなければならないと考えている。
- 正面玄関から1階の家庭裁判所の受付、あるいは1階のエレベーター前にたどり着くまでの間に点字ブロックによる案内がなかった。視覚障害者に対する配慮を更に充実させるべきではないか。また、正面玄関を入れてすぐに設置されている案内表示板の案内の文字が小さく、近くまで寄らないと何が書いてあるのかが分からなかった。部屋を説明する文字を大きくしたり、あるいは案内表示板の場所を正面玄関から入って分かりやすい位置に移動させるなどの余地があるように思った。
- 庁舎の敷地内に入ってから正面玄関を通り、総合案内までの間には点字ブロックは設置してある。
- 庁舎見学をしている際に、子ども連れの来庁者が通りかかったところ、

職員が声掛けをするまで、正面玄関から入ってすぐの所に設置されている案内表示板の存在に気付いていない様子だった。案内表示板に誘導するような表示をした方が良いのではないか。

- 会計課の部屋を出たところに、案内表示がないので、次の部屋への順路が分からない。階段等に設置されている案内表示に誘導するようなサイン表示があれば良いのではないか。
- 案内表示は至るところにあったので、これ以上は必要ないと思った。むしろ、案内表示板がどこにあるかを表示する工夫があれば良いのではないか。
- 会計課の廊下の天井に吊り下げられている「会計課」という案内表示が黒字のみの表示であり、単調過ぎてあまり視覚に入ってこなかった。カラーにするなどしてインパクトがあれば良いと思う。
- 今日は迷わず目的地にたどり着くことができたのは案内表示が至るところにあったからだと思う。もし、可能であれば、多機能トイレやAED（自動体外式除細動器）がどこにあるのかを来庁者に対して事前にアナウンスする機会があれば良いと思う。
- 正面玄関を入ってすぐに設置されている案内表示板では、法廷棟と事務棟とが色分けで表示してあるが、例えば6号法廷は「法廷棟」ではなく「事務棟」にあるので、部屋の用途別に色分けをするなど、その方法を検討する余地があるのではないか。
- 正面玄関を入ってすぐ左側に開廷情報に関する掲示があったが、そこにも法廷棟の案内表示があれば分かりやすいのではないか。
- 庁舎内は部屋の扉が閉まっており、職員の往来もあまりないので案内表示の重要性は高いと感じた。正面玄関を入ってすぐに設置されている案内表示板の色分けによるデフォルメが弱いように思った。また、そこに庁舎

内すべての案内表示を盛り込むと文字などが細かくなり過ぎて来庁者が目的地を探すのが大変だと思うので、初めて来庁される方がよく利用する部屋にだけ色又はマークを付けて案内する方が分かりやすいのではないかと。

○ 会計課は事務をする部署であるが「事務棟」ではなく「法廷棟」にあった。そこで、迷ったらこちら（総合案内）に、という総合案内がある場所を案内する表示が途中にあれば良いのではないかと思った。

● 総合案内に守衛がいない時には、どのように案内しているのか。

■ 総合案内にいる守衛は庁内を巡回する業務もあるので、その間は総務課又は会計課の職員が総合案内にある内線電話から連絡を受けて、来庁者の対応を行うシステムになっている。

○ 正面玄関を入ってすぐに設置されている案内表示板は庁舎内のすべてのフロアが表示されており、個人的にはそのような案内表示の方が位置関係を把握しやすいと思う反面、文字が小さくて読みにくいと感じる方もいらっしゃるのではないかと思った。

● 利用者目線に立った新庁舎のコンセプトや方向性についてのアイデアについて、御意見を伺いたい。

○ 元々、庁舎内は人と人がすれ違うことがあまり多くない場所であるところであるが、職員が庁舎内で迷っている来庁者を気にかけている様子が伺えた。また、庁舎を見て回った際に、事務室内の職員の雰囲気明るく、迷って目的地を尋ねるために立ち寄っても気軽に教えてもらえそうだったので安心した。いくら案内表示を充実させても、迷う人はいるし、人に聞きたいという人もいるので、困ったら気軽に尋ねていただきたいという雰囲気は庁舎建替後も続けてもらえたらと思った。

○ QRコードなどを用いてスマートフォンで案内表示を取り込めるようになれば良いのではないかと思った。

- 正面玄関を入ってすぐに設置されている案内表示板は重厚であるが、視界に入ってこなかった。新庁舎ではその点を考慮しても良いのではないかと思った。
- 今回、委員の皆様から出された御意見は、今後の利用しやすい裁判所の案内表示のための参考とさせていただきたい。